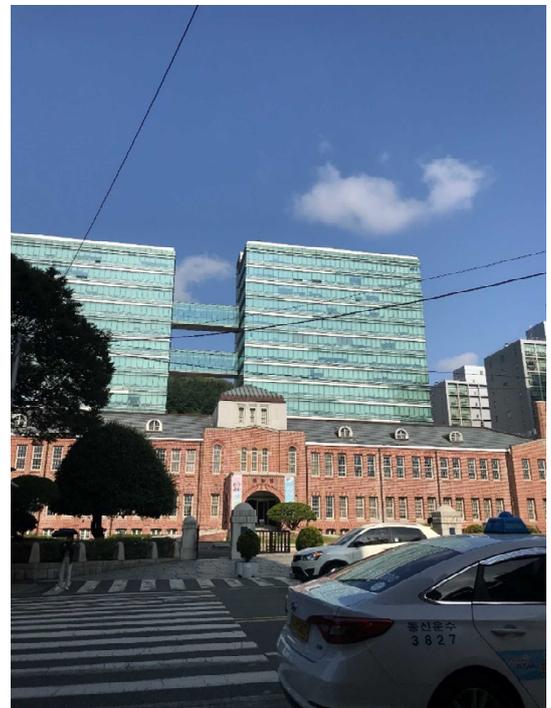


熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマースクール／語学セミナー)

氏名	B さん		
所属	文 学部・大学院 文 学科・専攻		
留学先機関名	東亜大学校 (国名: 韓国)		
参加プログラム 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 協定校サマースクール <input type="checkbox"/> 語学セミナー <input type="checkbox"/> その他:		
留学期間	H30 年 8 月 5 日 - H30 年 8 月 18 日	留学開始 時学年	1 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	<input checked="" type="checkbox"/> 奨学金受給無し <input type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ! 留学 JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 種類()	ビザ申請先	<input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input checked="" type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他()		
勉強方法	教科書等		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	<input type="checkbox"/> プログラム費用 0 円 <input type="checkbox"/> 宿泊費用(寮/ホームステイ等) 0 円 <input type="checkbox"/> ビザ申請 0 円 <input type="checkbox"/> 渡航費(<input type="checkbox"/> 片道 <input checked="" type="checkbox"/> 往復) 21370 円 <input type="checkbox"/> 海外旅行保険料 6310 円 <input type="checkbox"/> 食費 約 25000 円 <input type="checkbox"/> その他() 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	エアプサン	手配	楽天トラベル ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ		到着 時刻	【※移動時間(約 1 時間)】
大学(寮)への 移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関(<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車) <input type="checkbox"/> その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等			
宿泊先	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ その他()	宿泊 手配	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で その他()
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 その他()	ルーム メイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	携帯電話はSIMカードを2週間分買いました。個人的にWi-Fiを借りるよりもSIMカードを買ったほうが楽なのではないかと思いました。		

3. 留学先の大学について

<p>プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）</p>	<p>午前中は授業がありました。私は基礎から教えてもらいました。先生が日本語を話せたこともあり、とても楽しかったです。</p> <p>午後からは基本的にシティツアーがあり、南浦洞を始め、甘川文化村など様々なところに韓国人スタッフが連れて行ってくれました。1泊2日の慶州ツアーにも行き、様々な経験をすることが出来ました。</p>
<p>留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）</p>	<p>韓国人スタッフがとても日本語を上手に話せるので、ほとんど韓国語が話せない状態で行っても大丈夫でした。スタッフの皆さんがとても優しく、あらゆる面で2週間ずっとサポートしてくださってとてもありがたかったです。</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学IDの設定等）</p>	<p>特になし</p>
<p>休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に</p>	<p>一日自由時間があつたときは、同じ日本人学生でとても韓国に詳しい人がいたのでその人と南浦洞を観光しました。食事の場所とかはスタッフの人に教えてもらいました。基本的にスタッフの方々が食事に連れて行ってくれたので食事に悩むことはなかったです。スタッフの方々とは様々なところに行ったり、ゲームをしたり、もちろん韓国語や韓国独自の文化のことなども教えてもらいました。</p>

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

私は、自由選択語として韓国語を履修しており、韓国語がほとんど話せない状態で渡韓しました。2週間のうちのほんの少しの時間しか勉強をすることはありませんでしたが、進度がとても速かったので多くのことを学ぶことが出来ました。また、韓国人スタッフが常に身近にいてくれたので、午前中勉強したことをスタッフに話すことで復習にもなり、日常生活の中で頑張ってみることで身についた言葉も多かったです。プログラムが終了して1か月ほどたちますが、今でも連絡を取り合ったりしており、韓国人スタッフと連絡を取るときはなるべく韓国語できるように心がけるようになっていたりしました。今でも全然話すことはできませんが、いつか彼らと韓国語で話せるようになりたいと思うようになりました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

現地の方々や、スタッフの皆さん、日本人学生、みんな優しい人ばかりで、2週間毎日楽しかったので、あまり心配する必要はないと思います。ただ、必要最低限の知識は入れてから渡航したほうが良いと思いました。とにかく、積極的に人と関わるのがとても大切だと思いました。

留学を通しての感想

渡航する前は少し不安だったのですが、いざ着いて生活してみると毎日が楽しくてあっという間で日本に帰りたくないと思っていました。この2週間語学のことだけではなく、様々なことを学ぶことができ、韓国人だけでなく、日本全国に友達が出来て、一生忘れることのない2週間になりました。先ほども書きましたが、いつか彼らと韓国語で話せるようになるために勉強を頑張ろうと思えた2週間でもありました。留学して本当によかったです。また機会があれば参加したいと思います。

1. 出発前の準備について

ビザの申請	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 種類()	ビザ申請先	<input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	<input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input checked="" type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他 () 語)		
勉強方法	大学での第二外国語の授業、韓国人の友人との会話など		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	<input type="checkbox"/> プログラム費用 円 <input type="checkbox"/> 宿泊費用 (寮/ホームステイ等) 円 <input type="checkbox"/> ビザ申請 円 <input type="checkbox"/> 渡航費 (<input type="checkbox"/> 片道 <input checked="" type="checkbox"/> 往復) 20000 円 <input type="checkbox"/> 海外旅行保険料 7000 円 <input type="checkbox"/> 食費 30000 円 <input type="checkbox"/> その他 () 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	エアプサン	手配	※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡国際空港→金海空港	到着 時刻	11時ごろ 【※移動時間 (約 3時間)】
大学 (寮) への 移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車) <input type="checkbox"/> その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	タクシー、バス		
宿泊先	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ その他 ()	宿泊 手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で その他 ()
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 その他 ()	ルーム メイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの学生 その他 ()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	携帯電話はあらかじめ格安 SIM を日本で購入して持っていくと、費用も抑えられ、手続きも簡単に行うことができる。		

3. 留学先の大学について

<p>プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）</p>	<p>平日の午前中は韓国語の講座が行われた。レベルに応じて二つのクラスに分けられ、主に文法や会話の練習を行った。授業はすべて韓国語で行われたため、韓国語に触れるいい機会となった。また、最後の授業ではテストが行われた。</p> <p>平日の午後は、班ごとに文化体験（韓国料理体験、サムルノリ、韓国工芸等）やシティツアーを行ったり、自由な時間を過ごしたりした。週末には慶州という韓国の古都である場所で一泊二日のフィールドツアーを行い、様々な歴史的名所を訪れた。</p>
<p>留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）</p>	<p>日常生活においては、韓国人学生が手厚くサポートしてくれ、困ることは何一つなかった。寮も新しくきれいで、快適な環境で過ごすことができた。</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）</p>	<p>特になし。</p>
<p>休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に</p>	<p>自由時間は、班のみんなで食事をしたり、ショッピングしたり、海に行ったりした。班で過ごす時間が多かったため、班の中でより深く仲良くなることができた。現地の学生がおすすめの場所などに連れて行ってくれた。</p> <p>休日は、大学近くの町で遊んだり、釜山に住んでいる友人と遊んだりした。</p>

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

語学に関しては、2週間という短い期間であったため、大きな変化というものはないように感じるが、授業で習った文法を友人との会話の中で使ってみたり、時間があるときは積極的に外に出たりして、韓国語に触れようと心がけた。また、自分の思っていることを相手に伝えようと努力した面で、コミュニケーション能力も向上したのではないかと感じる。また、隣国である韓国でも、文化の面において異なる面が多く存在し、今まで自分が当たり前と思っていたことが覆される場面も多々あった。このようなことから、異文化を受け入れることの重要性も再確認することができた。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

プログラムに参加している期間は、自由時間も多くとることができるが、できるだけ寮の外に出て、いろんな所へ行き、生の韓国語に触れることをおすすめする。また、東亜大学には日本語学科があり、現地学生は日本語がペラペラで、コミュニケーションに困ることはほぼなく、韓国語ができない人でも気軽に参加することができるプログラムだと感じた。

留学を通しての感想

この2週間を通じて、韓国人はもちろん、全国から集まったたくさんの日本人学生とも交流を深める中で、様々な考え方に触れることができた。今までは自分の考えていることが標準だと思っていたが、彼らとの交流を通じて、様々な考え方をするようになり視野を広げることができたように感じる。また、韓国人学生に自分の言いたいことを伝えられなくてもどかしい場面もあり、これからの韓国語学習のモチベーションとすることができた。また、韓国で生活していく中で、日本のよさ、素晴らしさも再確認することができ、これらを韓国に伝えたり、逆に韓国の良さ、素晴らしさを日本に伝えたりしたいとも感じた。

ただ日本で生活しているだけでは感じることをできないことを感じたり、経験することのできない様々な貴重な経験をすることができたこの2週間は、私の人生の中でかけがえのない時間となった。